

# らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

こんばんは、常木らくだです。

藤子アニメの中では、平成初期に放送されていた、21エモンが好きでした。

それはそうと、この投稿ブログも、開設から21か月です。

まずは例によって、パブー版の紹介を。

ブログそのままの内容ですが、月によっては1000PVを越えたりしていて、非常にありがたい限りです。

らくだ図書館（21）

<http://p.booklog.jp/book/77418>

そして、ですね。

この「らくだ図書館」の存在を、ブログやツイッターで宣伝してくださっている方が、何名かいらっしゃるようで。

うおおおん！

ありがとうございます！

気付くのが遅れてしまって、直接お礼を言うタイミングを逃しておりますが、とても感謝しています。

どれくらい嬉しいかというと、皆様のお宅へ一件一件訪問し、感謝のハグを捧げたいくらい嬉しいです。  
(← 実行したら大迷惑)

まあそんなわけで、世間もついに10月ですが、今月も頑張ります！

10月はスーパーダッシュとHJを予定していて、秋の投稿はそれで終わりなので、燃え尽きる勢いで書きまわろうと思います。

「ガガガはどうなったの？」と聞かれましたが、手持ちの作品を1本だけ投稿しました。

祭りに参加される皆様、よろしくお祈りします！

去年は遅れましたが、例年の状況ですと、12月1日の深夜ですね！

そして小学館といえば、ルルル大賞の応募要項が、早くも更新されました。

評価シートが始まるようですが、システムがちょっと複雑な印象です。  
ルルル長編カップとルルル大賞が、ここにきて融合した感じでしょうか。

1月までに到着 ⇒ 3月にシート発送

3月までに到着 ⇒ 5月にシート発送

6月までに到着 ⇒ 8月にシート発送

評価シートを元に改稿して、同作品で再チャレンジOK。

ただし、いつ送ろうが締切りは9月なので、一度送ったら他の賞へは投稿しないでね、という。

これ、投稿を始めたばかりの少女は、混乱しちゃうんじゃないのかな……？

締切りが3回あるんだと、勘違いしちゃうそうなの。

あと、評価シートだけが先に届いて、結果がわかるのがずっと先って、それはまるで半殺しではないかと  
(汗)

痛恨の一撃を受けた後、瀕死の状態のまま、数か月を過ごすなんて……。

自分ドMですけど、そんなヒドイ拷問は、とても耐えられそうになく……。

逆に「どうしてもルルルで受賞したい！」という人には、締切り前に改稿のチャンスがあるので、非常にありがたいシステムだろうと思います。

自分の作品を知って欲しい。  
みんなに楽しんでもらいたい。

小説を書かれる人達って、皆様そういう感情を持っていると、自分は思うんです。

少なくとも、「誰かを不幸にしてやる！」とか、そういう負の感情で動いている人はいないと思います。

な・の・に！

本人は「楽しんでもらおう」と思っているのに、周囲から返ってくる反応が、あまりにもマイナスだと思いませんか？

世間からは「素人の小説なんて」と嘲笑され、選評では「とても出版できるレベルではない」と断言され、この無力感は一切どこへぶついたらいいの？状態。

もうね。

こんな理不尽な扱い受けたら、普通だったら、トラウマになってやめちゃうよ。  
いくら好きでやってることで、神経すり減って疲れちゃうよ。

ただ、そんな悪意に立ち向かえるほど、小説を書くことを愛しているから、悔し泣きした後も立ち上がれるわけで。

格好悪くても構いません。

でも、この事実だけは知って欲しい。

わたし達は、執筆を楽しむと同時に、ずっと苦しみ続けているんだと。

投稿者にとっては当然すぎる常識でも、世間の人には「ワナビって好きなことやってるだけでしょ？」と思っ  
ていたりするので、この主張だけは声を大にして叫びたいです。

## 手帳プレイ、再び - 2013.10.04 Fri

---

来年のスケジュール帳を購入しました。

そしてッ！

真っ白な手帳を開き、来年の8月10日に、「電撃2次発表」と記入ッ！



えっと？

アナタ、今年の失敗を反省してないんですか？

そんな指摘が聞こえてきそうですが、いやいや、反省しているからこそ書き込みました。

自分は今後も、小説投稿を続ける。

来年は絶対に1次通過させて、この書き込みを無駄にしない。

今年の出来事（2次発表の予定を書き込んでいたのに、1次で全滅して哀愁だけが後に残った）はあまりにも屈辱的だったので、去年とまったく同じ布石を敷いて、黒歴史を塗り替えるつもりです。

やっぱり、アレですよ。

投稿を続けていると、失敗する日もあります。

そこでやめたら失敗は永遠に失敗のままだけど、その経験をバネに立ち上がれば、失敗を教訓に変えられますからね。

と言いつつ、「最終発表」の予定を書き込む勇気はなく、あくまで「2次発表」なんですけど……。←そこは小心者)

とにかく、来年は修正テープのお世話にならないよう、今からバリバリ書き溜めようと思います！



さいたまスーパーアリーナ - 2013.10.05 Sat

---

フィギュアスケートのジャパン・オープンを観戦しました！

会場のさいたまスーパーアリーナは、駅のデッキと直結していて、周囲にお店もたくさんあり、とても便利な場所でした。



しかし、噂には聞いていたんですが、階段（客席）の傾斜が恐ろしく……。

今回チケット購入が直前になってしまい、上層階の後ろの方だったんですが、横というより真上から見ている感覚でした（汗）

あれはもう、スケートの会場というより、スリル系のアトラクションですね。



試合とアイスショーの間に少し時間があつたので、食事できそうな場所をキョロキョロ探していると……。

おおっ！

「秋のビール祭り」という看板が！

しかも入場無料なんて、見逃す手はありません。



会場はとても広く、各地のビールやおつまみが、所狭しと販売されていました。

しかしスゴイ人です。

テーブルは当然埋まっているので、立ち飲みするしかありません。



テンション上がるぜえええ！

自分はオシャレなワインを飲むよりも、ビールを立ち飲みする方が好きなので、会場の雰囲気思わず気合いが入りました。

ビールフェスタは、こうでなくっちゃ！





試合については、真央ちゃんのトリプルアクセルも見られたし、いつも通りたくさんパワーをもらえました！

ずっと執筆（アウトプット）を続けていると、心が空洞になってしまうので、定期的にインプットが必要ですよね。

この充実した気持ちを胸に、また執筆に励もうと思います！

みなさまは夢というか、目標ってありますか？

デビューが夢なのはまず大前提として、その後の具体的な目標って何でしょう？

シリーズ化して10冊以上出版するとか、コミック化とかアニメ化とか、きっと色々な目標があると思います。

自分の場合、やりたいことは明確で、投稿エッセイを書きたいです。

万年1次落ちのくせにそんなこと言って「常木らくだ、バカじゃねーの？」と思われてしまいそうですが……。

でも、なんて言うんでしょう。

投稿者が抱えているこの気持ちは、絶対に、伝えなきゃいけないと思うんです。

夢を追い続ける私達に対し、世間はとにかく無理解で、「誰もわかってくれない！」と腹を立てることもしょっちゅうです。

じゃあ、わかってもらう努力をしているのかというと、特に何もしていない自分がいることに気づきました。

私達は、どんな気持ちで夢を追って、どんな気持ちで小説を書いているのか。

それを世に発信するのも、このブログの使命だと思っているし、「スペシャル」もそういう目的で書きました。

でも、自分はまだ投稿者なので、自己満足だと言われたらそれで終わり。

だからこそ、いつの日か夢を叶えて、もっと説得力のある発言をしたいです。

まあそのためには、受賞という高いカベ（汗）が存在するわけですが、そのカベを越えるために、今は目の前の原稿を頑張ります……！

今日の話は、執筆中毒について。

本気で執筆に没頭すると、軽く1時間どころか、軽く12時間たっていることってありますよね？

今は家に家族がいるので、外出しなくても何らかの食料がありますが、一人の時は大変でした。

朝の9時から作業を始めて、トイレ以外に休憩もなく、ふと気がついたら夜の9時。

さすがに飲まず食わずで空腹なので、食料を求めて駅前へ繰り出すものの、その間も脳内ではずっとネタ出し。

そして寝る前に鏡を見て、自分のやつれ具合に、本気で驚愕したりする。

しかもその驚愕の内容は、「こんなにボロボロになってヤバイ！」じゃなくて、「こんなにボロボロになるまで執筆して偉い！」だという（爆）

まあ、好きだから仕方ないさ。

あと以前も書きましたが、寝る前にいいアイデアを思いつくと、夜明け前にパッチリ目が覚めたりします。

眠ってられっか、早く書くんだ！ みたいな。

しかし波が大きいので、一文字も書きたくない日も頻繁にあるわけですが、大好きな睡眠を後回しにできるくらいだから、やっぱり自分は創作が真剣に好きなんだろうなーと思います。

そんなわけで、今日はオチもありませんが、執筆中のひとりごとでした。

「歯医者」と書こうとしたら「敗者」と変換されて、自分のパソコンに悪意を感じた常木らくだです。

まあ、それはともかく。

親知らずの抜歯は一日で終わりましたが、それとは関係ない虫歯が見つかって、あれからずっと治療が続いております。

それで、ですね。

今日の治療中、何の作業かわかりませんが、口から煙が出てきたんです。

水滴かなと思ったけど、どう見ても本当に煙で。

何なんだ！？

もうすぐ火が出るのか！？

診察台で口を開けたまま、恐怖にガクブルしましたが、何の治療か特に説明なし。

しかも、歯医者さん&助手2人の顔が、超真剣。

ダメだ！

このままでは、ゴジラに改造されてしまう！

その発想がおかしくて（自分ウケ）、笑いを必死でこらえていたら、歯医者さん「目隠ししましょうか？」。

何故そこで目隠しー！？

もしや、恐怖に震えていると思われたのでしょうか……。

実際は、笑いを必死にこらえて、細かく震えていたのですが……。

まあとにかく、今日の結論としては、早く虫歯の治療が終わって欲しいです。

絵が描けないから、小説を書いています。  
もし絵が描けるなら、マンガを描いています。

↑という方を、たまに（というか割と頻繁に）お見かけするのですが、その度にとっても寂しくなってしまう自分がいます。

いえ。  
もちろん考え方は人それぞれですし、反論するつもりはまったくありません。

でも、何でしょう。  
ああそうか、あの人のにとっては小説よりマンガの方が上なんだ、ショボーンっていう。

これは、アレですね。

心底カレーが大好きで一人でカレーを食べている最中に、横の人もカレーを食べているので親近感を覚えていたら、その人の携帯電話に友達から電話がかかってきて、「カレーなんて、だっせえよな。でもうどん屋閉まってっから、カレー食うしかねえよ」という発言を耳にして、「ああ、あの人はわかり合えると思ったのに、本当はカレーよりうどんの方が好きなんだ」みたいな。

例が長すぎ。

でも文章で物語を作るのだって、実際はものすごく難しいことなので、それができる私たち小説投稿者は、自分の能力にもっと誇りを持っていいんじゃないかと。

仕方なく食べるカレーより、カレー最高と思って食べるカレーの方が、実際の味は一緒でもおいしいと思いますし。

ふとそんなことを考えた一日でした。

先日、歯医者でゴジラに改造されかけた話（違）を書きましたが、そういえば親知らずを抜く時も目隠しするかどうか聞かれました。

周囲が見えるのは、確かにすごく怖い。

しかし、目隠しされるのも、それはそれですごく怖い。

きゅ、究極の選択……ッ！

で、どうしたかというと、「しない」を選びました。

だって、ダメだよ！

目隠しされたら、想像力が働いて、あることないこと考えちゃうよ！

でもその瞬間になったら、怖くて治療風景を直視できず、真上を向いて白目の状態だったという。

おまけに口を開けすぎたせいで、唇が切れてダラダラと出血し、恐怖の口裂けワナビになったという。

んん？

こんな気持ち悪い顔をさらすなら、目隠しした方がよかったんじゃね？

とまあ、人生初の親知らず抜歯は、そんな感じで終わりました。

それにしても、小説執筆は神経も体力も使う作業なので、身体の一部が不調だと集中できませんよね。

こうして投稿に泣き笑いできるのも、丈夫な身体があってこそなので、歯以外の健康も大切にしていこうと思いました。

かなり乗り遅れてしまった感がありますが……。

今月10月1日から、小説家になろうにて、「オーバーラップ文庫WEB小説大賞」の募集が始まりました。

公式ホームページ

<http://over-lap.co.jp/bunko/narou-award/>

名前が似ているので間違えそうですが、「オーバーラップ文庫大賞」とは別物です。

あちらは公募ですが、こちらは例によって、なろうに作品をアップしてキーワードを貼るという応募形式。

募集テーマは決まっていて、第一回は「異世界×ハーレム」。

なんか……。

ものすごく直球ですね……。

でもこういう風に、はっきりと言い切ってくれるのは、ありがたいと思ったり。

こうして明言してくれたら、こっちもそういう理解で応募するし、それ以外の作品は応募しないので、送る側と選ぶ側のミスマッチが防げると思うんですよね。

なんかもう、他のレーベルも欲しい物を明言したらいいのにな、と思います。

話は戻って、この賞で2次通過したら、その作品で読者投票に参加できるそうです。

異世界モノを書くのは正直苦手なので、自分は挑戦しませんが、参加される方々は頑張ってくださいませ！

疲れた時はコレだよな！



というわけで、またまた火鍋を食べました。

いつも2色スープなんですが、白湯の方をあまり使わないので、今回は麻辣のみで注文しました。

火鍋はやっぱり、からくないとね！



火鍋を食べた後、心齋橋から阿波座へ、徒歩で移動です。

それにしても、この太陽は何？

暑すぎて10月だとは信じられません。





ふふふ……。

目標の物体が見えてきました……。

激しい逆光ですが、おわかりでしょうか？



ジャジャーン！

川に浮かぶ巨大なアヒル！

浮かんでいる地点は、阿波座駅から少し北へ行った場所で、中之島の西の端です。

11日（金）～18日（金）まで、展示されているそうですよ～。



青い空に黄色いアヒル。  
なんとも癒される光景です。

天気もいいこともあって、周囲は人がいっぱいでした。



というわけで、ラバー・ダックの写真を、次回も続けてご紹介します！

## ラバー・ダック（後） - 2013.10.13 Sun

---

ラバー・ダックの周辺には、屋台がたくさん出ていて、お祭りのような雰囲気でした。

火鍋（食べ放題）の直後なので、特に飲食はしませんでした。なんとも活気がありますねえ。



少し視点を変えると、アヒルさんがいます。

よく見ると、左上にとっても小さく、梅田スカイビルが見えています。  
この大きさでは、わからないかな？



周辺の広場は、アートな空間になっていて、ちょっとだけ不思議な感覚。

下の写真、立体的に見えますが、実際はすべて板！  
スゴイですねえ。



おお！  
ラクダを発見しましたよ！

それにしても、影だけを見たら、本物と間違えてしまいそう……。



下の写真は、会場で見つけた柵？ ポール？ です。

か、かわいい！  
こんな細かい部分まで、徹底的にアヒルとは、何ともニクイ演出ですね。



アヒル仕様のラッピング・カーもありました。  
後ろのアヒルワゴンでは、アヒルグッズを販売していて、ものすごい長蛇の列が。

確かにかわいいですが、このアヒルのキャラって、大人気だったんですね。



次回は会場の近くで見つけた、小便小僧の写真をご紹介します。



ラバー・ダックの会場の近くで、こんな物を見つけてしまいました。



その名もズバリ、大小便小僧。

小僧の下に仮設トイレがあって、そこで用を足すとセンサーが反応し、小僧からオシッコが出るという代物です。

ちなみに大小便小僧という名前ですが、大便をするとセンサーが壊れるそうです。



静かにたたずむ小僧くん。

しかしこれでは肝心の部分が見えません。  
真横へ移動してみましようか。

……って、おや？



おお！

一応モザイクを入れますが、挑戦なさる方がいるようです！

ちなみに周囲は、ギャラリー多数（汗）

なんだかドキドキしてきました。

センサーは本当に反応するでしょうか。



キタァァァー！！

そうそう。

尿の量は水圧で感知され、小僧くんから出てくるのは、実際の400倍だそうですよ。

自分がオシッコしている様子が、視覚イメージと共に周囲へ伝わるって、とても恥ずかしいような気もしますが……。



とはいえ実際は真面目なオブジェで、「浄化した川の水を小僧から噴出させることで、用を足しつつ、楽しみながら環境保護について考えよう」という狙いだそうです。

20日（日）まで展示されているそうなので、お近くの方は、チラリとご覧になってはいかがでしょうか。

ホームページ

<http://osaka-canvas.jp/project/daishobenkozo>



今日はいい感じに執筆がはかどって、イチャラブ台詞を書きながら、一人でニヤニヤしちゃいました。

ヤダー。

一人で笑うなんて、常木さん、気持ちわるーい。

はい。

人に言われると傷つくので、いつも通り、自分で先に言うておく作戦です。

まあでも、ニヤニヤできるというのは、感情移入できている証拠ですよ。

しかし自分だけ喜んでもダメなので、読み手もちゃんと惹き込めるよう、じっくり書いていこうと思います。

ちなみに今は、甘くて泣けるラブストーリーを書いています。

まだ途中ですが、マジで泣けます。

小便の話をして「キタァァァー！」とか言ってる場合じゃありません。

結末を何パターンか考えているので、最後にどうなるか書いてみないとわからない（←プロット作らない人間）ですが、どんな話になるのか自分でも楽しみです。

もうね。

かなり感情移入できているので、これが落ちたら、その時は絶対に泣くと思います。

待てよ！

泣ける作品って、そういう意味か！？

と、無理やりオチへ繋げつつ、今日のブログは以上です。

とにかく、早く形にできるよう、今週も気合いで頑張りますー！

本日の話題は、句読点について。

句読点の使い方って、結構迷いますよね。

「、」はいいとしても、「、」は難しいところです。

これといった正解はないですし、人によって好みもあるでしょうが、自分の場合迷った箇所にはすべて入れています。

というのも、小学校の時、国語の時間にこう習ったから↓↓↓

「、」は例えて言うなら、一つのトイレ休憩です。

たくさんあっても困らないけど、なかったらものすごく困ります。

だからみんな、作文を書く時は、たくさん「、」を使いましょう！

ひょっとすると、先生の好みだったのかもしれませんが、それを聞いて「なるほど！」と思ったので、過剰に入れる癖がついてしまったという……。

でも、多いに越したことはないというのは、ある意味正論のような気がします。

息継ぎがいらなかったら飛ばせるけど、ないと息継ぎできないので、だんだん苦しくなってきますもんね。

うん。

まさしくトイレ休憩だ。

トイレ休憩といえば、大小便小僧が台風で吹き飛ばなかったか、少し気になります。

そんなこんなで、本日は句読点の話題でした。

明日は引き続き、改行の話をしようと思います。

## OVL 1次発表 - 2013.10.17 Thu

---

今日は改行の話をする予告でしたが、オーバーラップの1次発表があったので、予定を変えてそちらの話題を。

というわけで、通過された皆様はおめでとうございます！

お名前を知っている方が数名しかいないのですが、おそらく固定ペンネームではない方もいると思います。

2次もその後の最終も、どうか通過しますように！

そして、そして。

恒例の倍率計算（まあ誰でもできますが・汗）は、ご覧の通りでございます。

応募総数	548作品
1次通過	66作品
通過倍率	約12%

レーベルの雰囲気を見る限り、GAやえんために近いのかな？と思っていたのですが、1次はなかなかタイトな模様。

しかし1次発表がこれだけ早く（2か月かかってない）、評価シートもすぐに見られるようなので、投稿するに十分な魅力がありそうです。

ってか、ヒーロー文庫の選評はいつだよ！

締切り4月だったのに、8月締切りのOVLに、先越されてんじゃねーか！

（↑選考中は黙っていたが、落ちた後なので、はっきりと文句を言う）

とにかく今回は送っていませんでしたが、ターン制で締切りも多いことですし、次回はオーバーラップにも参加してみたいなーと思います。

ここ数週間ほど、「電撃の選評が来ない」というキーワードが、ちょくちょく見受けられるのですが……。

大丈夫ですよ～。

電撃は毎年10月末の一斉発送なので、焦らず待つのがよろしいかと思います。

11月中旬に遅れた年もありました。

ちなみに、自分の手元のデータでは、こうですね。

16回 11月18日(水)

17回 11月1日(月)

18回 11月4日(金)

19回 11月5日(月)

家に届いた日(大阪)なので、関東在住なら、もう少し早いかもしれません。

まあ、そういう自分は、今年は選評もらえないけどね!

なんとって4作品が1次落ちだもん!

親切ぶってアドバイスをしつつ、最後に卑屈すぎる発言をして、周囲を困らせる大迷惑なワナビ。

それはそうと、自分は5年前に投稿を始めた時から、発表日や選評到着の日をメモしているので、日付を知りたい方がいらっしゃればご一報くださいませ。

チェックしていない賞もありますが、電撃やSDあたりはデータがあります。

とにかく来年は選評をもらえるように、いや、受賞して逆に選評ナシになれるように、今から頑張りたいと思います!

というわけで、タイトルの通り、今年もS Dへ投稿しました。

スーパーダッシュさんは、投稿者の評判がそれほどよろしくないようで、積極的な参加表明をあまり耳にしないのですが……。

うーん。

個人的な意見としては、評価シートの内容は、親切だと思うけどなあ。

別にステマでも回し者でもないですが、自分はS Dの選評から多くのことを学んだので、今年も張り切って参加した次第です。

ずっと投稿を続けていて思うのは、同じ少年系ラノベであっても、相性は確実に存在するということ。

評価シートのコメントが、あまりにも自分の気持ちと違っていて、こっそりシュレッターした賞もありますからね。

別に酷評されて腹が立ったわけではなく、自分とそのレーベルでは、追っている物が根本的に違うんだなーと。

なので今から投稿を始める方は、あまり先入観を持たずに色々な賞へ送って、合う・合わないを自分で確かめたらいいんじゃないかと思います。

……………。

最近、偉そうに先輩顔してる気がします、こんなブログで大丈夫でしょうか……。

とにかく、S Dには新作を送ったので、通過して欲しいなと思います。

投稿された方がいらっしゃれば、どうぞよろしくお願いします！

クリスマス前後だと思いますが、一緒に祭りを楽しみましょう！

当ブログ「らくだ図書館」は、たまに遅れる場合もありますが、基本的に毎日更新を続けております。

なぜ毎日更新するかというと、小説投稿者の皆様にとって、少しでも身近な存在でありたいからです。

しかしそれはイヤラシイ建前で、本音を言うと、関係者の目にとまりたいからです。

【出版社のエライ人】

ふむ、常木らくだか……。

コイツは一定量の文章を、毎日休まず書けるようだな。

ギャグはつまらないが、よし、いっちょ声をかけてみるか！

↑↑↑という展開を狙ってるんだぜい！

しかし、もうすぐ2年になる今も、その気配は一向にありません。

出版社さーん！

お声をかけてくださってもいいんですよー！

まあ、石の上にも3年と言いますからね。

このまま何事も起きなくても、3年は続けてみるつもりです。

あと、自分は記録魔なので、書かずにいられない感じもあります。

実際今も、ネットにブログを書いて、ノートに日記を書いて、手帳に一言ダイアリーを書いて、そして小説を書いているという……。

一番好きな行動が、文章を書くこと。

そんなわけなので、世間の目にとまらなくても、今後も続けていこうと思います。

本日の話題は、1 対 1 について。

自分はラブコメやラブストーリーを書く時、基本的に 1 対 1 の人間関係を書くので、その点を選評で注意されたことがあります。

コメント曰く、

「二人の関係をじっくり書き込むのもいいですが、その二人が読者の趣味に合わなかった場合、その試みは逆にマイナスになってしまうので、もっと周辺キャラを登場させましょう」

↑↑↑ みたいな内容でした。

それを読んで「なるほど」と思ったのに、今書いているラブストーリーも、完全に 1 対 1 になっているこの事実（汗）

だって、……ねえ？

ターゲットキャラを数だけ増やして、個々の掘り下げが浅くなるのは、なんだか寂しいと思いませんか？

せっかくキャラとして命を与えたからには、全員に見せ場を作って、みんな幸せになって欲しいじゃないですか。

しかしそういう姿勢で書いていると、周辺キャラを安易に増やせず、また冒頭の指摘を受けることに……。

魅力的なキャラをたくさん出して、なおかつ全員に見せ場を作れたら、それが一番いいんだと思いますが、なかなかそこまで筆力が及びません。

というわけで、今も試行錯誤の真っ最中ですが、1 対 1 でも物足りなさを感じさせないよう、どうにか頑張ってみようと思います。

うーん。

今取り組んでいる作品、ちょうど半分まで来たけど、一から書き直そうかな。

というのも、第一章がひたすらイチャラブなので、メインキャラ2人を好きになってもらえないと、読むのが相当ツライんではないかと……。

なんかこう、ね。

映画に行ったら前の席がカップルで、しかも上映中ずーっとイチャついていて、「テメェラ映画見ねえなら出て行きやがれえええ！」みたいな。

自分は書くの楽しかったけど、端から見ると、そんな感じになってるかも（汗）

実際はイチャラブも伏線要素なんですけど、第一章だけ読んで「ツマンネ」と思われてしまったら、後半をちゃんと読んでもらえないかもしれませんからねえ。

そんなわけで。

素材自体は気に入っているのですが、没にはしませんが、ちょっと構成を変えようかなーと。

書いた部分を削除するのは、正直かなり心苦しいですが、まだ時間はありますからね。

現在はスーパーダッシュへ投稿し、HJへ送る原稿も準備できており、その後は電撃まで予定がないので、納得いくまで練り回そうと思います。

ちなみに前回（今年）は、似た系統の話を送って全滅したので、来年も複数投稿するつもりですが、それぞれ全然違う作品を用意したいです。

4月10日まで、あと半年弱。

季節的にも気持ち的にも、春を目指して頑張ります！



チーン。  
書き直し決定。

あ、今のチーンは、一休さんを意識した音です！（← どうでもいい）

そんなわけで、新作の進み具合が、40枚から1枚へ一気に後退。  
構成を根本的に変えるので、転用できる箇所もなく、完全にゼロからの再出発です。

……………。

いや、いいんだ。  
昨日までの40枚は、キャラ像を固めるための、かなり長い前書きだったんだ。

無理やりそう考えて、前向きに頑張ります。

ちなみに今回は、恋愛部分は相変わらず1対1ですが、周辺の脇役キャラを増やしてみました。

脇役といっても、話に絡まなかったら「このキャラいらなくね？」と言われるので、主人公に協力してくれる人物を役割別に増やした感じです。

しかし、書き上がった枚数を毎日手帳にメモしてるんですが、「40枚 ⇒ 1枚」は精神的にこたえますねえ……………。

プロットなし派だと、上手く進んだ時はいいんですが、たまにこういう逆走が起こると言う（汗）

とはいえ素材そのものは気に入ってるので、まだ時間はかかりそうですが、来月中の完成を目指して頑張ります！

きょ、きょ、今日が結果発表です！

汗ばむ右手でマイページへログインし……。  
恐る恐るページを下へスクロールしたら……。

「落選」

らくせん、らくせん、らくせん……（エコー）

え？  
どこの賞かって？

はっはっは！  
全日本フィギュアの、チケット抽選の話です！

「らくだの野郎、1次落ちかよw」と思ったっしょ？（ニヤリ）

いえ、すみません。  
あんまり書くと、ウザい性格がバレるので、この辺でやめておきます。

しかし、オリンピック代表の選考試合だけあって、今年的全日本チケットの競争率はスゴイですね。

抽選で初日分を取れなかったの、今年が本当に初めてのような……。  
まあでも、週末のキョードー東京先行と、来月の一般発売で頑張ります。

いくぜ、昭和の16連打あああ！

それにしても、抽選に漏れた場合の、「落選」表記はやめて欲しいですよ……。  
その2文字を見ると胸が痛むので、「ハズレ」とかにして欲しいです……。

- 【1】 ハリー・ポッターと秘密の原稿 ⇒ 実は隠れワナビ
- 【2】 ハリー・ポッターと炎の原稿 ⇒ 執筆がはかどっている
- 【3】 ハリー・ポッターと原稿の囚人 ⇒ 締切り直前で缶詰状態
- 【4】 ハリー・ポッターと死の原稿 ⇒ 自信作が落選
- 【5】 ハリー・ポッターと不死鳥の原稿 ⇒ 次の賞へ使い回し

……………。

すみません。

ハリポタ祭りにちなんだ、つまらない悪ふざけです。

それはそうと、本日はスーパーダッシュの締切りでした。

急に思い立って、以前の作品をもう1本投稿したので、ドキドキです。

しかし、台風なんですよ。

ちゃんと届くか不安ではありますが、逆に1次で落選した時に、「台風で届かなかった」と弁解できます。

メール便で追跡確認できるし、1次落ちでも評価シート届くけど、しかし台風を言いわけにするッ！

そんな金曜日の夜ですが、HJへの投稿分も用意しつつ、引き続き新作を頑張ります。

目指せ、炎の原稿……！

「立ち話」と書きたかった部分が、「立場なし」に一発変換されて、動揺を隠せない常木らくだです。

やっ、やめろ！

頼むから、それ以上言うんじゃねえ！

↑↑↑ 心当たりがあるだけに、一人で必死。

それはそうと、かなり急いで、新作を書き直し中。

寝る時間をちょっと削って、現在は20枚ほど書けました。

締切り的には、余裕があるんですけどね。

40枚を基点に考えると、枚数的にマイナスなので、そういう変な焦りがあります。

そんなわけで、気持ち的に焦りながら書いたら、文章も焦った印象になってしまい、最初から振り返って手直し中。

当たり前だけど、やっぱり焦っちゃダメですね。

納得いかないから直すのに、文章のクオリティが下がったら、書き直した意味が根本的にないですし。

ゼロを基点に考えれば、1枚でも2枚でも進んだらプラスなので、あまり書き直しということを意識せず、前向きに取り組んでいこうと思います。

一応電撃に送る予定の作品ですが、11月末までにしっかり完成したら、某賞へ参加しようと思っているので、焦らずに（しかしダラけずに）頑張ります。

立場なしなんて、言わせないぜー！

執筆の進め方は十人十色で、これといった正解はないですが、自分が最近ためしているのは「印刷」です。

1. その日書いた部分を印刷
2. キャラのセリフに蛍光マーカーをひく
3. 場所、登場しているキャラ、そのシーンの役割等を、赤ペンで欄外へ書き込む
4. 文章を繰り返し読んで、細かい言葉選びを吟味

特に「3」を詳しくやっていると、作品の構成を客観的に把握できて、書きやすくなるような気がします。

赤ペンで書き込む内容は、

「このセリフを入れることで、次のシーンの失踪を匂わせる」

「強気な性格を強調したいので、あえてオーバーな書き方で」

「しばらく出番がないので、ここで活躍させておく」

という具合に、自分が書いた文章について、自分で補足説明している感じ。

例えるなら、本文とプロットを同時に進行させているイメージでしょうか。

今までは脳内で作業していましたが、実際に原稿へ書き込むと、頭が整理されて理解しやすいです。

印刷や書き込みの手間はありますが、執筆自体の効率はすごく良くなっているので、この取り組みは今後も続けていきたいです。

投稿生活を続けていると、作品の内容はもちろん、執筆方法についても試行錯誤の連続ですね。

他にも自分に合う方法がないか、色々ためしてみようと思います。

## 真夜中の取引 - 2013.10.28 Mon

---

締切り当日に送った原稿の、到着確認をしてみた結果。

状態発生日	配送履歴	
2013/10/25 12:44	引受	
2013/10/26	私書箱保管	
2013/10/28 01:58	窓口でお渡し	

あれ、レタパの追跡画面って、24時間表記だよな……？

このデータが正確なら、スーパーダッシュ編集部は、日曜（日付的には月曜）深夜の1時58分に郵便局で原稿を回収したことに。

いやはや。

さすがジャンプの集英社は、勤務時間も超・熱血ですね。

というわけで、原稿も無事に届いたので、台風を落選の言いわけにはできません！

皆様。

リストに名前がなかった場合、励ましよろしくお願いします。

締切り直後から、励ましを予約。

というのも、GAやら電撃やら、毎年必ず参加していた賞で、今年はことごとく1次落選しているので……。

さすがに相当な危機感を覚えているので、最近は大真面目に執筆に取り組んでますが、今書いている作品の結果が出るのって結構先なので、モチベーションが続くような続かないような。

まあでも、執筆をやめて困るのは結局のところ自分なので、気持ちを奮い立たせて今日も書くしかないですね！

最近「頑張る」を連発している気がしますが、やっぱりそれしかないと思うので、頑張って執筆しようと思います。

こんばんは、常木らくだです。

ドラゴンボールで一番好きな台詞は、「オレは怒ったぞ、フリーザァァ！」です。

それはそうと、タイトルの通り、H Jへ投稿しました！

今回から大幅なりニューアルがありました。要項を見て変わってるなァァと感じたのは、「作品に合うイラストレーターを記入せよ」という部分。

え？

投稿作品なのに、絵師さんの名前、具体的に挙げちゃっていいの？

うーん？

必須じゃないけど、項目があるってことは、書いた方がいいのかな？

という感じで迷ったんですが、真剣に悩みすぎて脳がパンクし、結局書かずに送ってしまいました。

だって、投稿作の段階なのに、絵師さんを指名するなんて、何だか照れくさいじゃないですかっ。

いや、本当は書きたいけど！

心の中では決まってるけど、このシートには書けない！

ついでに言うと、もしもアニメ化された場合に、演じて欲しい声優さんの名前も、脳内では決まっていますぜー！

まあそんな感じで、妄想は豊かだけど、人には打ち明けられない、内気なワナビです。

とにかく今日は、参加表明の記事でした！

H Jへ投稿された皆様、よろしくお願ひします！

「スーパーダッシュへ作品を投稿したが、42字×34行の枚数だけ書いて、原稿用紙の換算枚数を書き忘れた！」という、質問というか悩み相談(?)をいただきました。

えっと。

自分はSD編集者ではないので、断言はできませんが、たぶん問題ないと思います。

要項には、こう書いてありますね。

\*\*\*\*\*

ワープロ、パソコンでの応募の場合：42字×34行（文庫見開きフォーマット）で50枚～200枚。

ただし、原稿用紙フォーマットの20字×20行や40字×40行なども可とします。

その際上紙に必ず原稿用紙換算の枚数を記入すること。

\*\*\*\*\*

これはおそらく、「20字×20行」や「40字×40行」の場合は、原稿用紙の換算枚数を書いてね、という意味ではないでしょうか。

どっちも書くのが一番確実だとは思いますが、自分は去年「42字×34行」の枚数だけ書いて平気だったので、それを理由に落とされることはないと思います。

まあ最初に言った通り、断言はできませんが、過去の体験例ということで。

とにかくそんなわけで、スーパーダッシュもHJも終わったので、しばらく新作に専念できます。

最近かなり集中して書いているので、あと三日くらい時間があれば、書き直し前の地点まで到達しそう。

早くそこまで行けるように、今夜も頑張ろうと思います！



近所にホームセンターのコーナンができました。

で、家族と見に行ったわけですよ。

ついでなので、ダブルクリップ（大）を、ケース買いしたわけですよ。

そうしたら、案の定こういう指摘が。

「(大) なんて買ってるけど、100枚も何を挟むの？」

「ってというか、ダブルクリップ、何個も持ってるよね？」

「別になくなる物でもないし、一度買ったら充分でしょ？」

はっはっは！

その質問にお答えしよう！

「ワナビにとって、ダブルクリップは消耗品だぁぁぁー！」

しかしその真実は口にできず、「うん、まあ、そうね」と意味不明に笑って、どうにかその場を切り抜けました。

ふう……。

危なかったぜ……。

という出来事が、今年のハロウィーンのハイライトでしたが、今後もどうぞよろしくお願いします。

何の挨拶だ。

まあでも、ダブルクリップが消耗品なのは、小説投稿者の常識ですよ。

いざという時に、ないと致命的に困るので、今後も切らさないようにしたいです。